

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 月曜午前	教室名	1校舎801.802
担 当 教 員	①中島弘美 ②水口洋一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖学・基礎生理学をベースとした病理学の基礎を修得させ、その知識を他の科目につなげ、理解する能力を身に付ける。						
《成績評価の方法と基準》						
期末の筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ) 臨床検査学講座 病理学・病理検査学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
授業の都度理解を深めるようにし、配布資料をしっかりと復習する。それを前提に講義を進めていく。						
《履修に当たっての留意点》						
病理学に関連図けて、解剖学や生理学の知識も増やしていく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	病理学で何を学ぶかと、病気の原因について説明できる		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	病理学とはどういうものかと、病因についての説明。導入。				
第2回	授業を通じての到達目標	生体と循環の仕組み、充血とうっ血、出血について説明できる		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	生体と循環の仕組み、充血とうっ血、出血(種類、結果と影響、出血性素因)について学ぶ				
第3回	授業を通じての到達目標	血液凝固と血栓症について説明できる		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	血液凝固(止血機構)と血栓症(血栓形成の3要因、血栓の種類)について学ぶ				
第4回	授業を通じての到達目標	塞栓症、虚血と梗塞、浮腫について説明できる		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	塞栓症(動脈性塞栓、静脈性塞栓)、虚血と梗塞(梗塞の種類)、浮腫(浮腫の成因・原因)について				
第5回	授業を通じての到達目標	ショックと傍側循環について説明できる		カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
	各コマにおける授業予定	ショック(低容量性、心原性、閉塞性、血液分布異常性)と傍側循環について学ぶ				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 先天性心疾患、心臓の炎症について説明できる	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定 先天性心疾患、心臓の炎症について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 虚血性心疾患、心嚢の病変について説明できる	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定 虚血性心疾患、心嚢の病変について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 血管の病変と血圧異常について説明できる	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定 血管の病変と血圧異常について学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 造血器系の基礎と代表的疾患について説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定 造血器系の基礎と代表的疾患について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 前期に学習した疾患について細部にわたり、明確に説明できる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定 前期に学習した疾患についての知識を整理し、理解を深める。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 病理学とはなにか、病理学を学ぶ意義、病気の原因などについて理解する	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定 病理学とは何か、病気の原因、病理診断学などについて学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 先天異常について理解する	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定 先天異常の原因、主な先天異常について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 腫瘍①:腫瘍の定義と分類、形態について理解する	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定 腫瘍の定義と分類、命名法、腫瘍の形態(肉眼的形態、組織学的形態)について学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 腫瘍②:腫瘍の発生と発育、悪性腫瘍の進展と転移について理解する	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定 腫瘍の発生と発育、悪性腫瘍の進展と転移(血行性転移、リンパ行性転移、体腔内性転移)について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 腫瘍③:腫瘍の原因と発生のメカニズム、診断と治療について理解する	・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定 腫瘍と宿主の関係、発生のメカニズム(がん遺伝子とがん抑制遺伝子)、診断と治療について学ぶ		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝異常①:生体の脂質・糖質の代謝と代謝異常について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料 	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	脂質・糖質の物質代謝と代謝異常について学ぶ		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝異常②:たんぱく質・核酸生体色素の代謝と代謝異常について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料 	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	たんぱく質・核酸・生体色素の物質代謝と代謝異常について学ぶ		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系①:内分泌系の形態と機能について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料 	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	内分泌系の形態とホルモンの機能について学ぶ		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系②:内分泌系の主な疾患について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料 	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	内分泌系の主な疾患について学ぶ		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期、第1回から第9回の授業のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーで学べる病理学 ・臨床検査学講座病理学/病理検査学 ・配布資料 	授業の項目ごとに十分に理解するため、予習・復習が望まれる。
		各コマにおける授業予定	前期、第1回から第9回の授業のまとめを行い理解を深める		
第21回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第22回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第23回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			